

小児医学と小児医療 「教育」がすべてを変える！

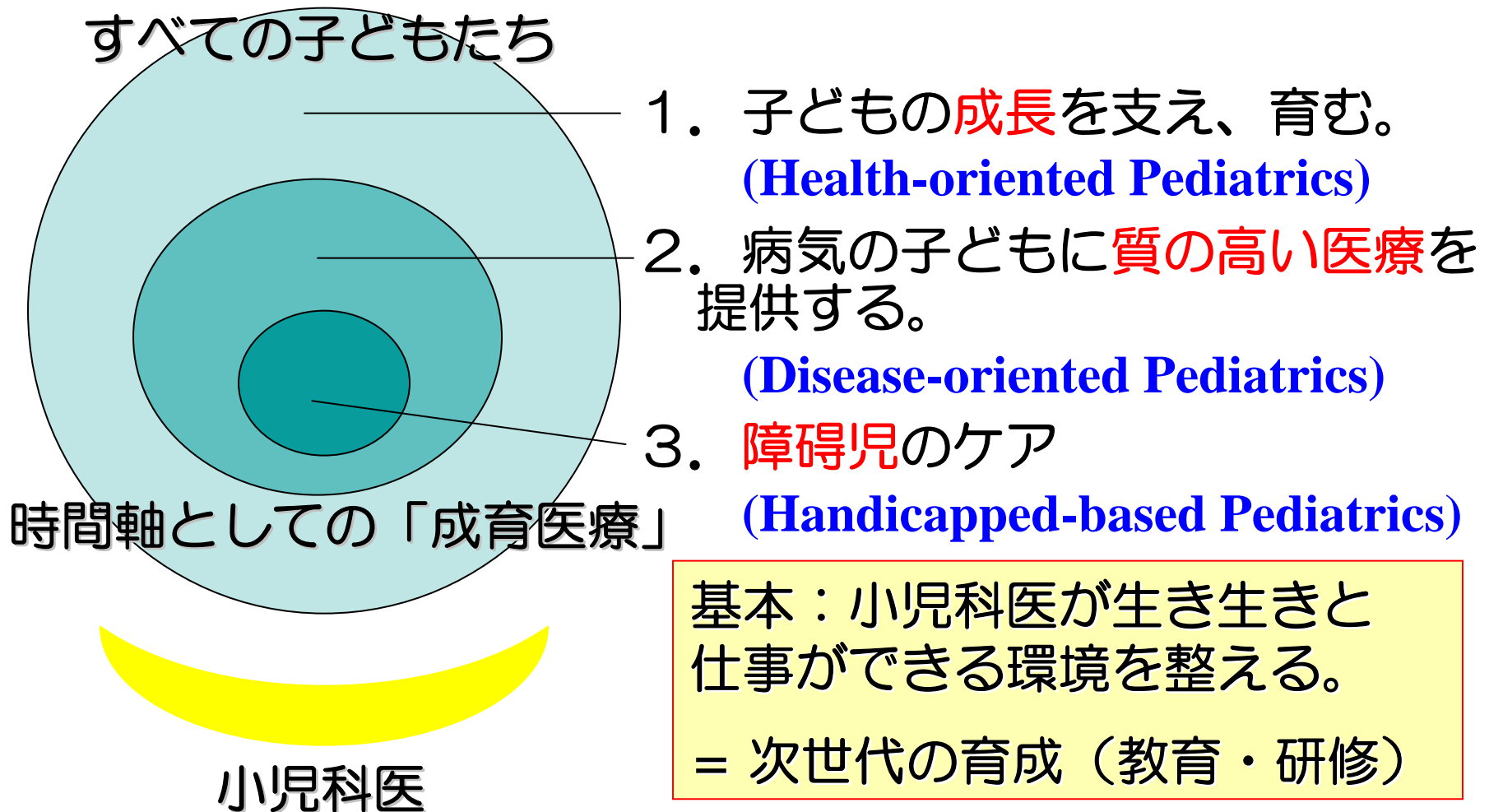
日本小児科学会

横田俊平

小児科医を取り巻く医療の現状と課題

- 勤務小児科医の激減：“診療科の偏在”と“地域の偏在”。
 - 小児科医の需要の増大：“一人っ子”が母親に。“核家族”が家族の一般形態に。高学歴＝育児不安＋専門医志向。
 - 小児急病外来への受診者の増大：24時間、365日要望。
 - 小児医療の裾野の広がり：乳幼児の発育支援。園医・学校医。小児高度救命救急医療。Subspecialty専門医療。総合小児医療。
- 小児救急：#8000、夜間・休日診療所、「小児拠点病院」。
- 小児医療のコンセプトの確定。
- 医学教育・研修方法の改革と医療提供システムの抜本的改革

小児医学・小児医療の使命



小児科を担う医師に求められるもの

● 小児医療のコンセプトの樹立 (2008年7月)

- 1) 子どもの発育・発達支援
- 2) 病気の子どもに最高の医療を提供
- 3) 障害をもつ子どもへの支援 (支援ネット・ワーク)

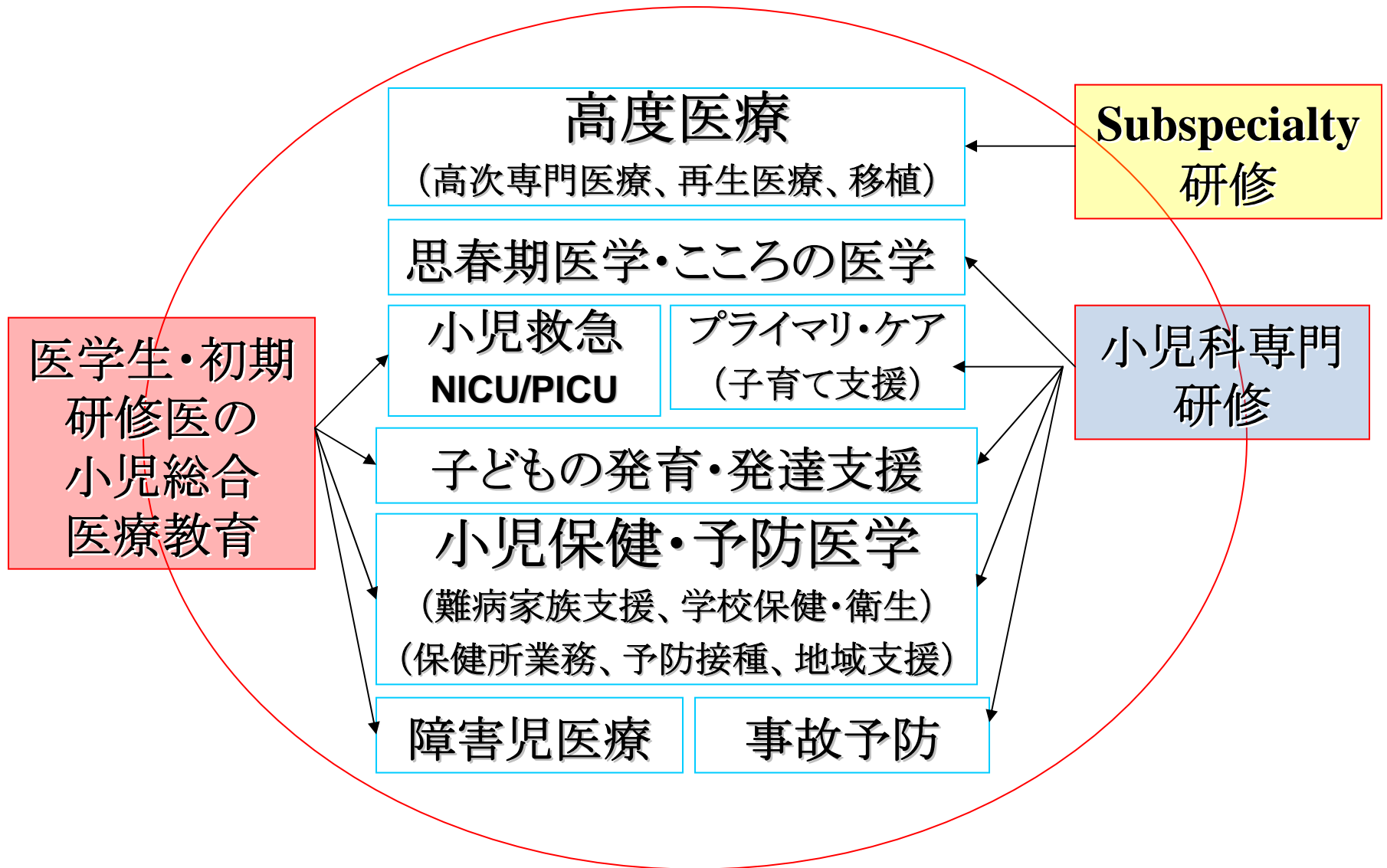
● それぞれの教育コンテンツの確定 (進行中)

- 1) 出生コホート、予防医学、プライマリ・ケア技術
- 2) 次世代の育成、医療提供システムの構造改革、総合小児医療学の創設と特殊専門医療の充実など。
- 3) 在宅障害児のケア・ネットワークの形成

● 教育・研修システムの確定

- 医学生: clinical clerkship、小児OSCE、NICU実習、幼稚園実習
- 研修医: 施設の限定 (拠点病院)、指導医講習会、研修要項

小児医療の守備範囲と研修

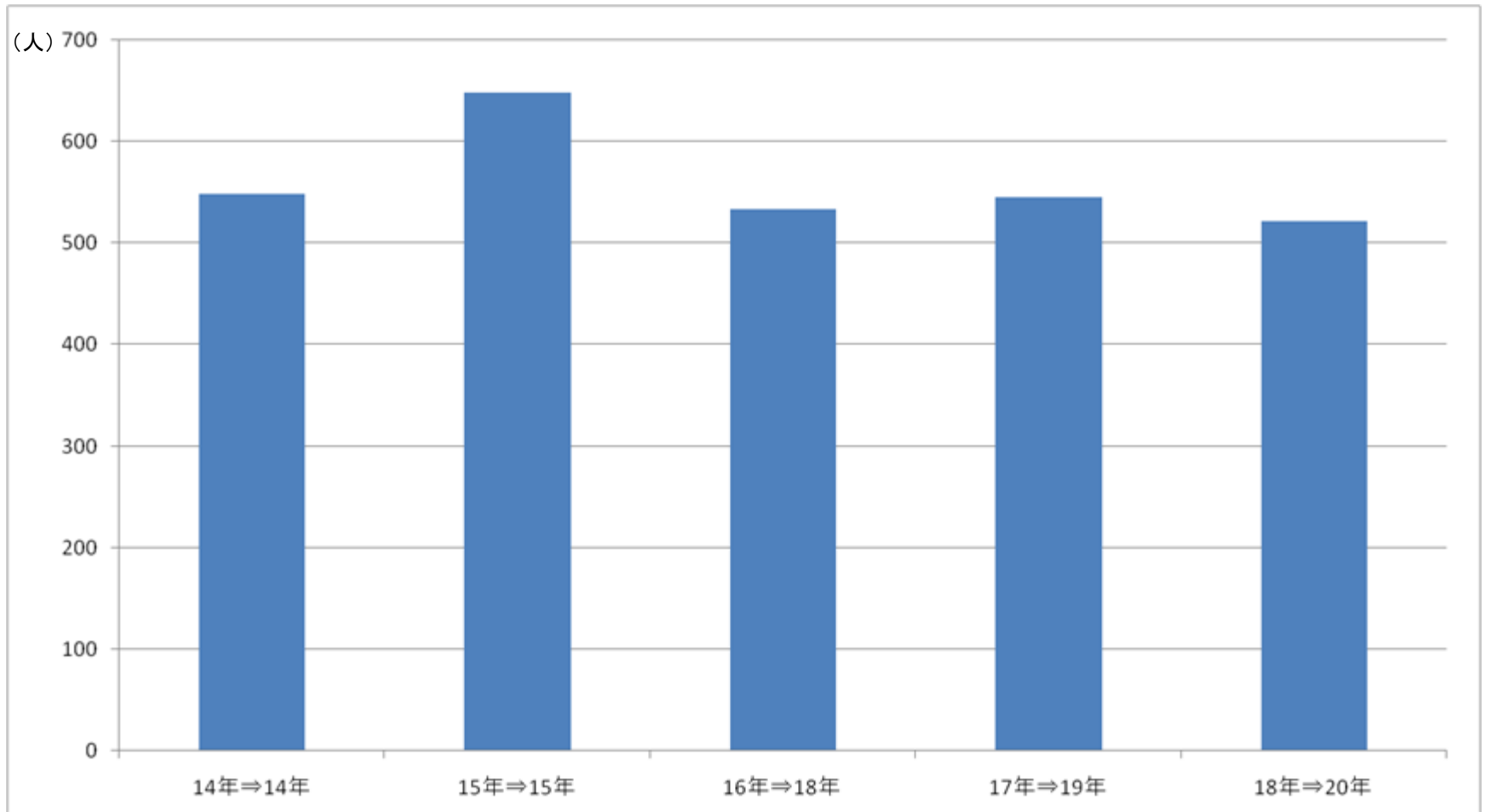


医療を成立させる4要件

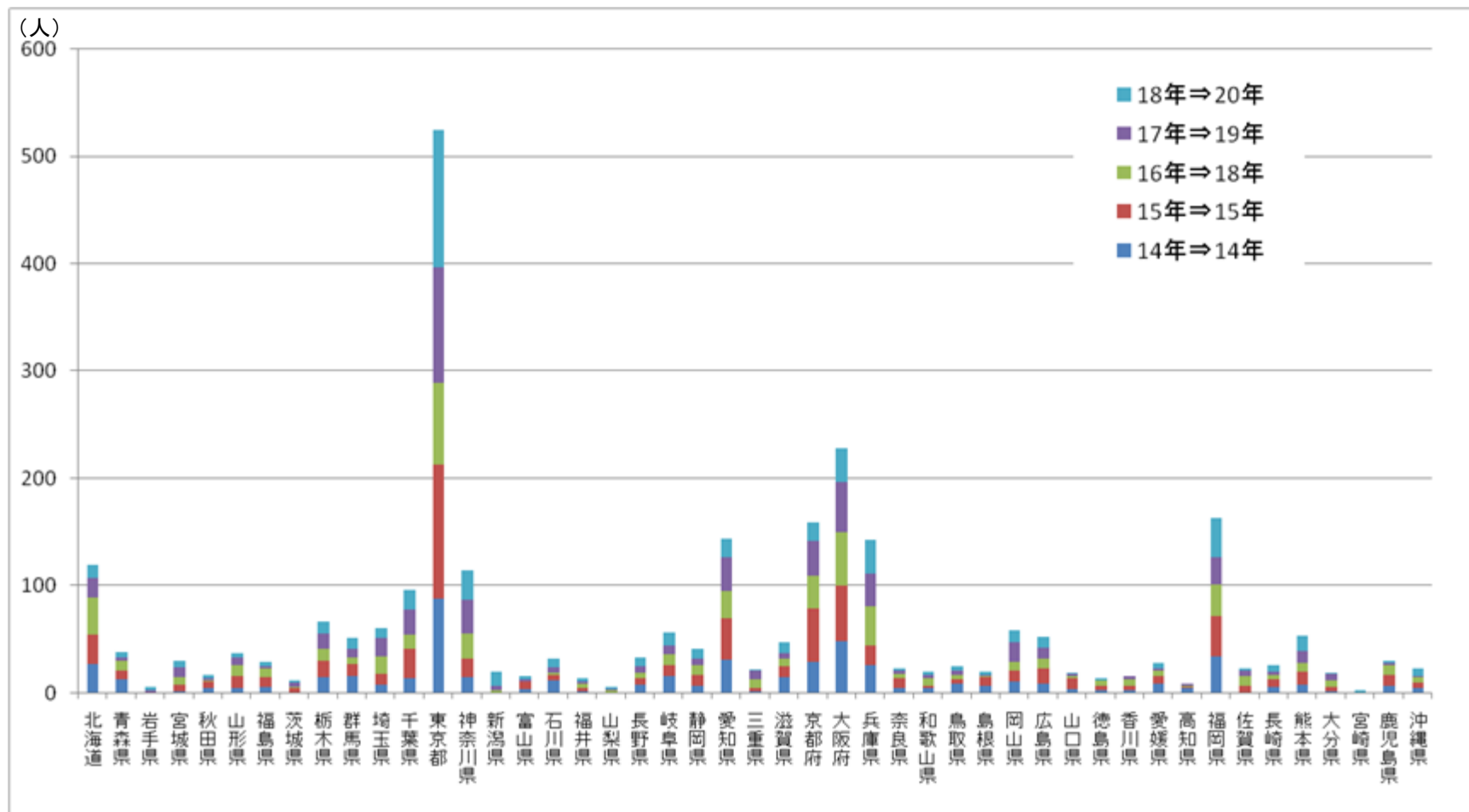
- 現場の医療活動
- 制度的な医療供給体制
- 臨床医学研究
- 医学教育・研修

- **Dr. Flexner:** よい教育・研修制度の樹立がなにより優先。
- 次世代のよい小児科医の育成。

年度別小児科医師数グラフ(全体)

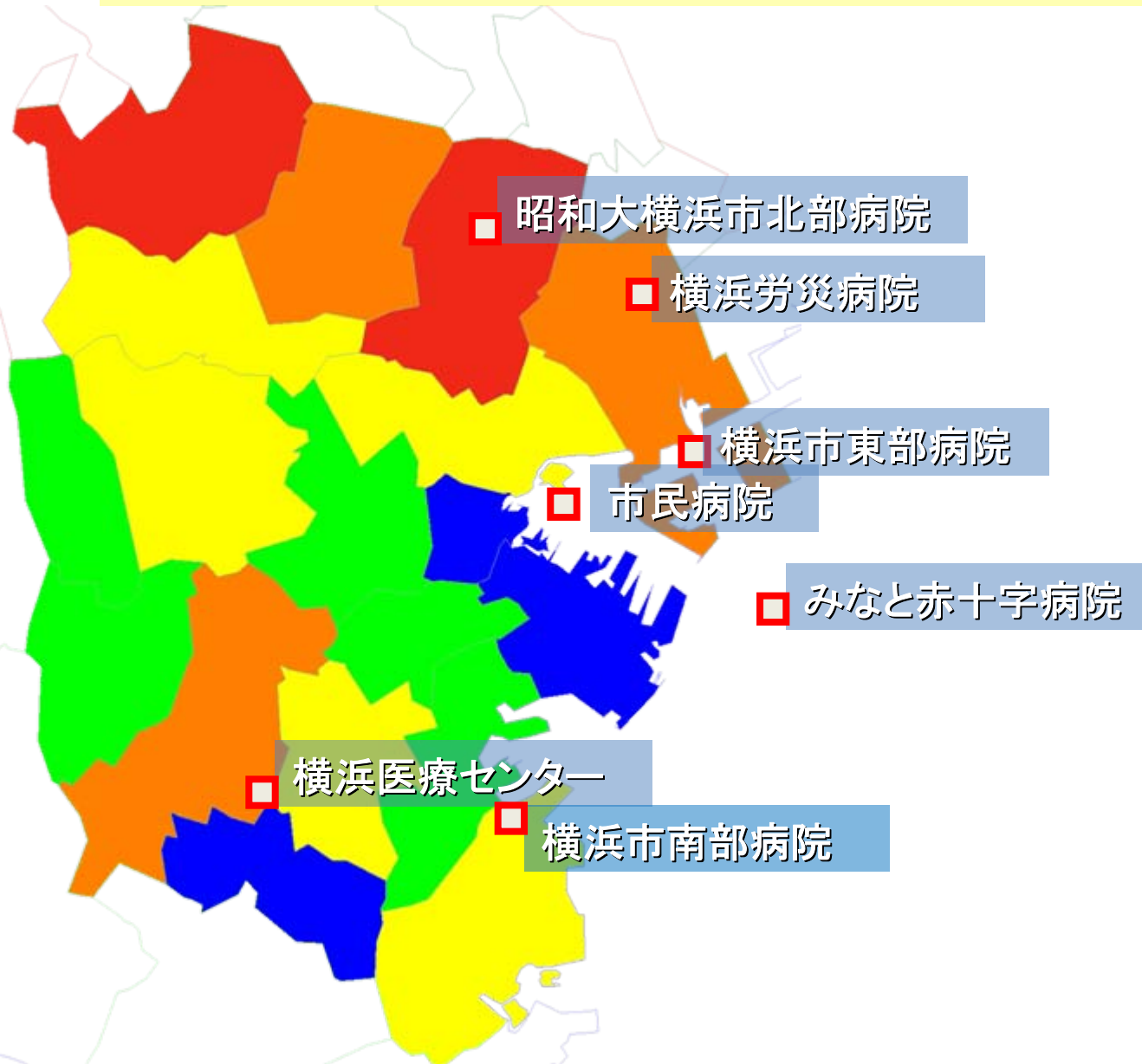


年度別小児科医師数グラフ (都道府県別)



横浜市の小児科拠点病院システム

乳幼児人口(0~5歳)



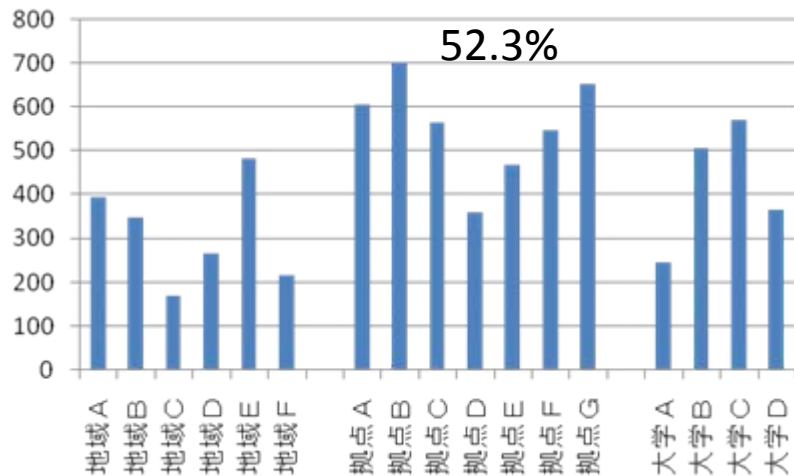
青葉区	19368
港北区	17406
鶴見区	15158
戸塚区	15079
都筑区	13975
旭区	13240
港南区	11952
神奈川区	10970
金沢区	10888
緑区	10650
保土ヶ谷区	10464
南区	9074
泉区	8966
磯子区	8493
瀬谷区	7842
栄区	6813
中区	6366
西区	3827

	常勤小児科医	小児科病床
地域A	4	13
地域B	3	25
地域C	2	20
地域D	2	20
地域E	6	
地域F	4	20
拠点A	16	48
拠点B	11	34
拠点C	11	24
拠点D	11	38
拠点E	8	40
拠点F	17	30
拠点G	17	32
大学A	10	32
大学B	14	44
大学C	18	32
大学E	20	30

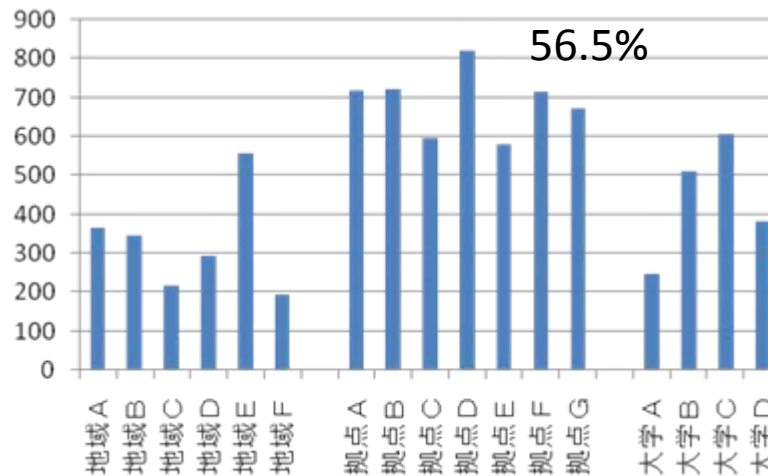
総新規入院患者数

(グラフ中の数字は全体に占める拠点病院の割合)

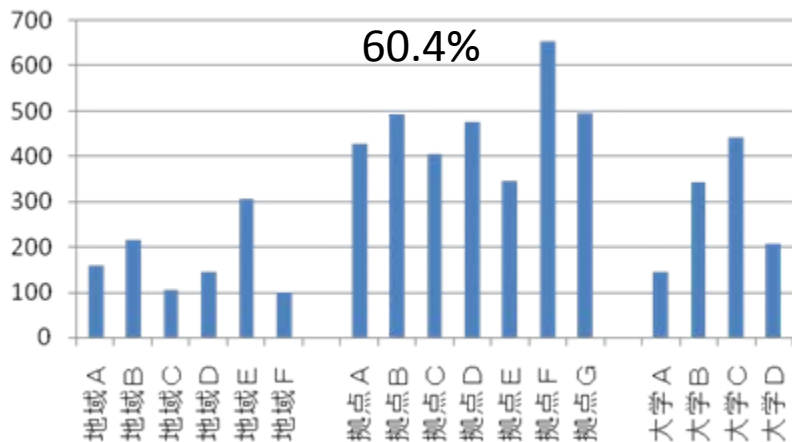
2007年度前半



2007年度後半



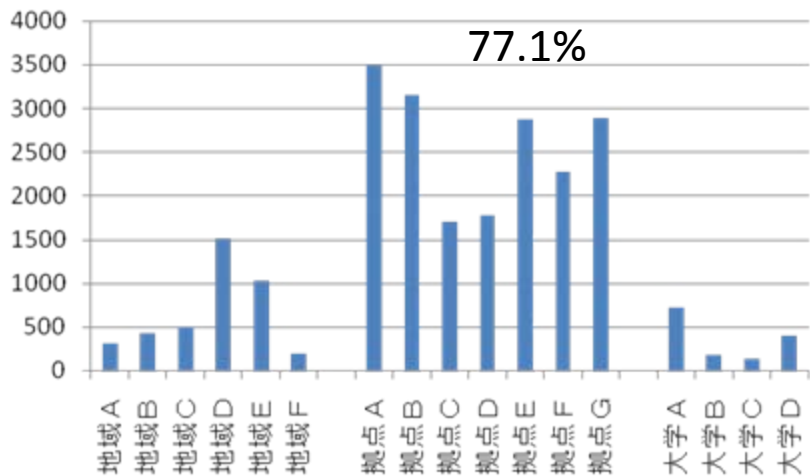
2008年度4～7月(4ヶ月)



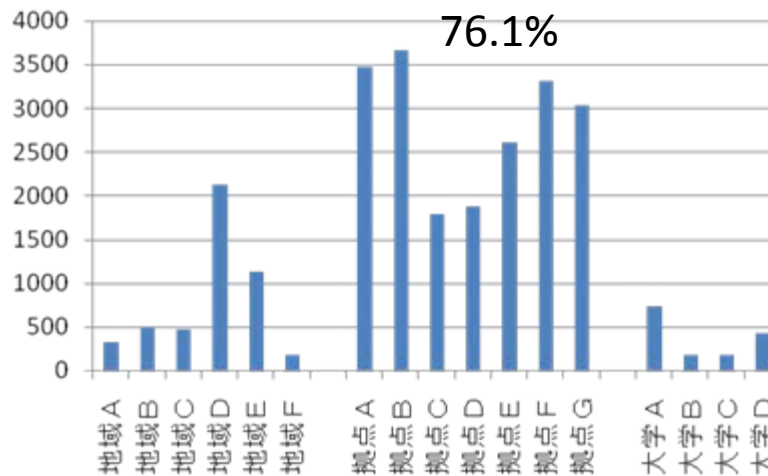
時間外 外来者数

(グラフ中の数字は全体に占める拠点病院の割合)

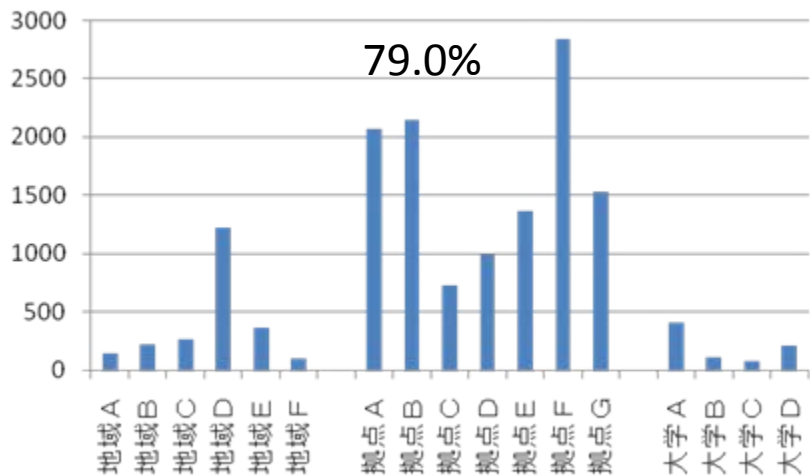
2007年度前半



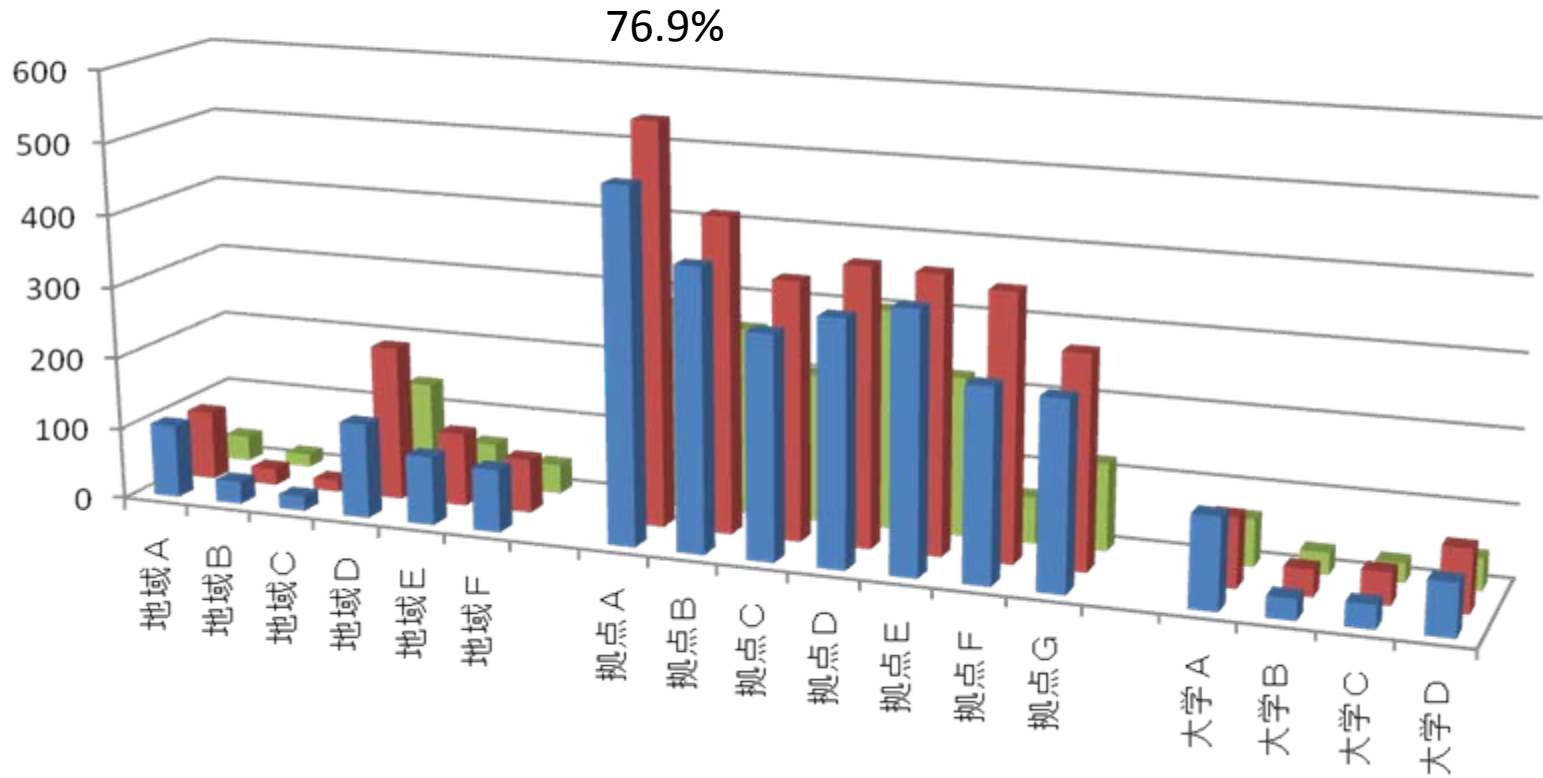
2007年度後半



2008年度4～7月(4ヶ月)



救急車 受け入れ数



2008年度4~7月
2007年度後半
2007年度前半

小児救命救急システム

こども病院

- (P-ICU、外傷外科)
- ・小児治験(CRC整備)
- ・臨床研究
- ・総合小児医療学
- ・障害児ケア・ネットワーク (ケアの中核的機能)

<高次医療ネット・ワーク>

Dr.ヘリコプター医療

大学病院小児科

- (P-ICU、外傷外科)
- ・学生・研修医教育
- ・医学・臨床研究
- ・小児治験(CRC整備)

小児subspecialty専門医療
(Subspecialty 専門医研修システム)

小児科拠点病院

24時間・365日 小児一般救急対応
小児科専門医研修・レスパイト入院等

(都市型) (郊外型) (広域型)

中小規模Hp

中小規模Hp

中小規模Hp

障害児
在宅管理

障害児
在宅管理

<地域小児医療保健ネット・ワーク>

搬送

派遣

派遣

搬送

卒前医学教育に求められるもの 効果的と思われる方策・取組

子どもについてのコンセプト = 成長・発育

● Early exposure

- NICU経験、新生児外来、幼稚園実習
- 健診への参加

● Clinical clerkship

- 小児の診察技術 = 理論
- 小児OSCE:ppt、DVDの活用(全国版)
- clinical clerkship:教本の充実

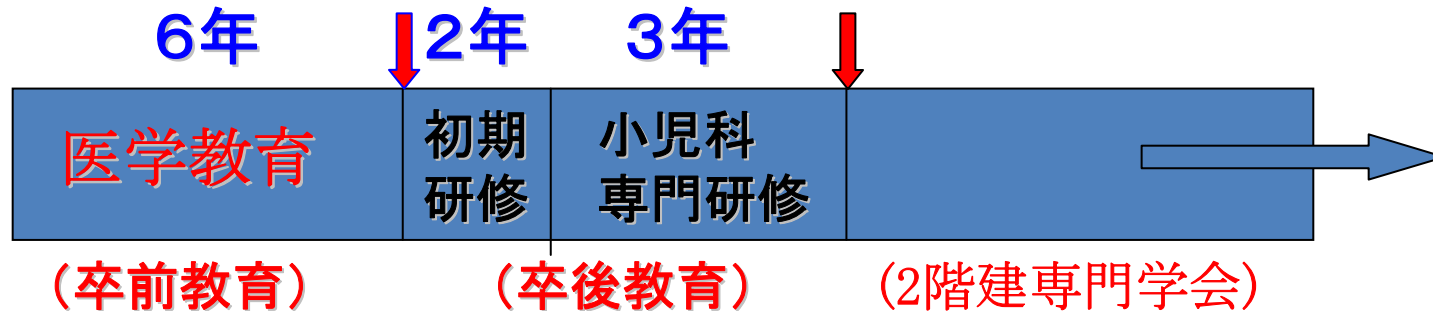
● 臨床所見と検査値の読解

- 炎症の原理と臨床の実際
- commonな症状・所見から鑑別疾患

抜本的な小児医学・臨床教育過程の改革 (私見)

- 課題：
- ・初期研修の卒前教育への組み込み
 - ・卒後研修は小児科専門研修(3年間)
 - ・その後、subspecialty研修(2年間)

日本



米国(UCSD)

